

Lesson 19

①

① セル【J1】に「=TODAY ()」と入力

②

① セル【D5】に「=DATEDIF (C5,\$J\$1,"Y")」と入力

② セル【D5】を選択し、セル右下の■ (フィルハンドル) をダブルクリック

③

① セル【H5】をクリック

②  (関数の挿入) をクリック

③ 《関数の分類》の  をクリック

④ 《統計》をクリック

⑤ 《関数名》の一覧から《RANK.EQ》を選択

⑥ 《OK》をクリック

⑦ 《数値》にカーソルがあることを確認

⑧ セル【G5】をクリック

⑨ 《参照》のボックスにカーソルを移動

⑩ セル範囲【G5:G34】を選択

⑪  を押す

⑫ 《順序》に「0」と入力

⑬ 数式バーに「=RANK.EQ (G5,\$G\$5:\$G\$34,0)」と表示されていることを確認

⑭ 《OK》をクリック

⑮ セル【H5】を選択し、セル右下の■ (フィルハンドル) をダブルクリック

POINT

《順序》では「0」または「1」を指定します。「0」は省略可能です。

「0」は、降順 (大きい順) で何番目かを表示します。

「1」は、昇順 (小さい順) で何番目かを表示します。

④

① セル【I5】をクリック

②  (関数の挿入) をクリック

③ 《関数の分類》の  をクリック

④ 《論理》をクリック

⑤ 《関数名》の一覧から《IF》を選択

⑥ 《OK》をクリック

⑦ 《論理式》にカーソルがあることを確認

⑧ セル【E5】をクリック

⑨ 「E5」に続けて「>=1000」と入力

⑩ 《値が真の場合》に「A」と入力

- ⑪《値が偽の場合》に「B」と入力
- ⑫ 数式バーに「=IF (E5>=1000,"A",B)」と表示されていることを確認
- ⑬《OK》をクリック
- ⑭ セル【I5】を選択し、セル右下の■ (フィルハンドル) をダブルクリック

⑤

- ① セル【J5】をクリック
 - ②  (関数の挿入) をクリック
 - ③ 《関数の分類》の  をクリック
 - ④ 《論理》をクリック
 - ⑤ 《関数名》の一覧から《IFS》を選択
 - ⑥ 《OK》をクリック
 - ⑦ 《論理式1》にカーソルがあることを確認
 - ⑧ セル【G5】をクリック
 - ⑨ 「G5」に続けて「>=2000」と入力
 - ⑩ 《値が真の場合1》に「A」と入力
 - ⑪ 《論理式2》に「G5>=1500」と入力
 - ⑫ 《値が真の場合2》に「B」と入力
 - ⑬ 《論理式3》に「TRUE」と入力
 - ⑭ 《値が真の場合3》に「C」と入力
- ※表示されていない場合は、スクロールして調整します。
- ⑮ 数式バーに「=IFS (G5>=2000,"A",G5>=1500,"B",TRUE,C)」と表示されていることを確認
 - ⑯ 《OK》をクリック
 - ⑰ セル【J5】を選択し、セル右下の■ (フィルハンドル) をダブルクリック

⑥

- ① セル【M5】をクリック
- ②  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《統計》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《COUNTIF》を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《範囲》にカーソルがあることを確認
- ⑧ セル範囲【I5:I34】を選択
- ⑨  を押す
- ⑩ 《検索条件》のボックスにカーソルを移動
- ⑪ セル【L5】をクリック
- ⑫ 数式バーに「=COUNTIF (\$I\$5:\$I\$34,L5)」と表示されていることを確認
- ⑬ 《OK》をクリック
- ⑭ セル【M5】を選択し、セル右下の■ (フィルハンドル) をダブルクリック

⑦

- ① セル【M9】をクリック
- ②  (関数の挿入) をクリック
- ③ 《関数の分類》の  をクリック
- ④ 《統計》をクリック
- ⑤ 《関数名》の一覧から《COUNTIF》を選択
- ⑥ 《OK》をクリック
- ⑦ 《範囲》にカーソルがあることを確認
- ⑧ セル範囲【J5:J34】を選択
- ⑨  を押す
- ⑩ 《検索条件》のボックスにカーソルを移動
- ⑪ セル【L9】をクリック
- ⑫ 数式バーに「=COUNTIF(\$J\$5:\$J\$34,L9)」と表示されていることを確認
- ⑬ 《OK》をクリック
- ⑭ セル【M9】を選択し、セル右下の  (フィルハンドル) をダブルクリック